

令和 6 年第 1 9 回公安委員会会議録

日 時	8 月 8 日（木曜日） 自午後 1 時 3 0 分 至午後 4 時 2 0 分		場 所	公安委員会室
会 議	公安委員	吉田委員長 甲斐委員 小野委員 宮尾委員 野口委員		
出席者	警察職員	本部長	警務部長	生活安全部長 刑事部長
		交通部長	警備部長	情報通信部長

第 1 聴聞等についての決裁

聴聞 4 件、意見の聴取 2 0 件についての決裁（運転免許課）

第 2 定例会議

1 令和 6 年上半期の犯罪認知・検挙状況等について

警察本部から、令和 6 年上半期生活安全部所管の犯罪検挙状況等について報告が行われた。

公安委員から「生活環境事犯関連では、大企業の進出など本県特有の事情もあることから、県内の治安課題に対する様々な視点を持つことの重要性が高まっている。県民の安全安心を確保するため、連鎖する様々な治安課題への対策を県警全体として講じていく必要がある。」旨の発言があり、警察本部から「経済事犯を始め、本県特有の事情を踏まえながら、組織横断的な治安対策に取り組む。」旨の説明があった。また、公安委員から「大切なことは、これら犯罪情勢のデータを、県民の体感治安向上のために有効に活用していくことである。」旨の発言があり、警察本部から「毎年漫然と同じことをやるということがないように、こうしたデータをよく分析した上で、社会情勢に応じた的確な警察活動を推進していくための必要な見直しや改善を行っていききたい。」旨の説明があった。

2 令和 6 年上半期の犯罪検挙状況について

警察本部から、令和 6 年上半期刑事部所管の犯罪検挙状況等について報告が行われた。

公安委員から「電話で『お金』詐欺」について、コンビニや金融機関など民間の協力により被害が未然に防止された報道をよく目にする。被害回復が困難である分、水際防止はとても重要なので、県民や企業等の防犯意欲を高めるためにも、今後もマスコミ等を通じた積極的なアピールを行ってほしい。」旨の発言があり、警察本部から「電話で『お金』詐欺の認知件数が、昨年同期比で減少した要因としては、水際防止も一定の効果を上げている一方で、犯罪グループがスマホなどのネット空間だけで犯罪を完結してしまう SNS 型投資・ロマンス詐欺のような新たな犯罪ヘシフトしたとも考えられるところである。今後は、電話で『お金』詐欺と SNS 型投資・ロマンス詐欺の両方について、しっかりと抑止を図っていききたい。」旨の説明があった。

第 3 報告・決裁等

- 1 猟銃等所持者の取消処分の決定についての決裁（生活環境課）
- 2 犯罪被害者等給付金の支給等の裁定に係る審査基準の改正についての決裁（広報県民課）
- 3 援助の要求（大阪府警）についての決裁（警備第一課）
- 4 苦情（R 6. No. 1 3）の調査結果についての決裁（交通指導課）
- 5 人事異動関係についての報告（警務課）
- 6 警職法第 4 条第 1 項を根拠とした犬の捕獲について（生活環境課）
- 7 審査請求（R 6. No. 3）の受理についての報告（公安委員会事務室）